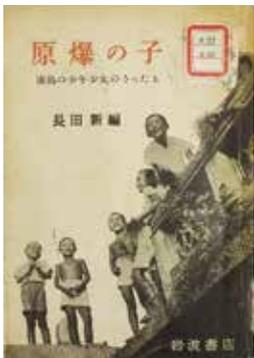




令和6年度被爆体験継承事業 企画展「ヒロシマと映画」

会場: 中央図書館2階展示ホール 期間: 令和6年7月6日(土)～9月23日(月・祝)

中央図書館では、被爆体験の記憶を映像にして伝えてきた映画に焦点を当てた企画展を開催します。それらの映画の中から一部をご紹介します。



『原爆の子 広島の子 少女のうたったえ』
長田 新/編 岩波書店
1951年

終戦7年後の昭和27年(1952年)、被爆を体験した子どもたちの手記をまとめた本『原爆の子』を原作に、広島原爆を主題にした初めての映画『原爆の子』(新藤兼人監督)が制作されました。新藤監督は、打越町にあった旅館に乙羽信子ほか女性の俳優や撮影隊と泊まり込み、広島ロケでの撮影に臨みました。靴磨きの少年が街の中を八丁堀から疾走する場面では、建設中の広島平和記念資料館が背景となっています。市民も子役などに抜擢されました。

昭和28年(1953年)に同じ原作をもとに制作された『ひろしま』(関川秀雄監督)では、8万8千人を超える市民がエキストラとして参加し、原爆投下直後の広島の恐怖や残酷さを再現しています。撮影のために故郷の広島を訪れた教師役の月丘夢路は、母校の袋町小学校の変わり果てた姿を見て、撮影日記に「私を知っているのは運動場の砂だけだった」と書いたそうです。

昭和34年(1959年)に制作された『ヒロシマ・モナムール(二十四時間の情事)』(アラン・レネ監督)は、広島を舞台に、男女の出会いを通して戦争の記憶と再生への希求を描きました。出演したフランス人俳優エマニュエル・リヴァが当時撮影した写真が発見され、平成20年(2008年)に写真集『HIROSHIMA 1958』として出版されています。広島子どもたちを中心に、ロケの様子や広島市民球場建設工事現場、江波の護岸工事の様子などが記録されています。

昭和41年(1966年)には吉永小百合と渡哲也が出演した『愛と死の記録』(蔵原惟繕監督)が広島で撮影されました。原爆詩の朗読が続けられている吉永小百合は、この映画への出演が戦争や原爆に向き合うきっかけとなったそうです。企画展では、蔵原監督のご遺族から寄贈された貴重な台本やスケッチブックも展示します。

この企画展が、被爆体験を伝えることを考えていただく機会になれば幸いです。

見どころ

展示ホール内で、海外の監督が制作した短篇映画をリピート上映します。



『二十万の亡霊』ジャン・ガブリエル・ペリオ/監督
フランス 2007年



『OBON』アンドレ・ヘアマン&アンナ・サモ/監督
ドイツ 2018年

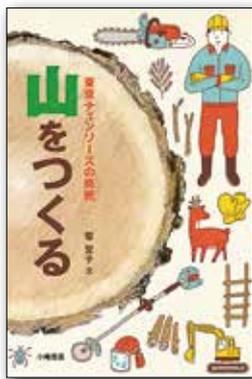
図書館司書がおすすめするこの1冊「仕事に役立つ本」

児童書

『山をつくる—東京
チェーンソーズの挑戦—』

菅 聖子／文

小峰書店 2020年



東京都の檜原村にある林業の会社「東京チェーンソーズ」。この会社の仕事には、「木を育てる仕事」と「木を届ける仕事」の2つがあります。前者は春の植栽、夏の下刈り、秋の枝打ち、冬の伐採と、季節ごとに決まった作業をしながら木の生長に合わせた手入れをして山をつくる仕事、後者は、伐採した木を商品化して販売する仕事です。

1本の苗木が木材として使えるようになるには50~60年かかり、とても気の長い仕事ですが、今の仕事が未来をつくるともいえます。さまざまな職歴を持つ若者が、目先の結果だけでなく、未来を見据えて生き生きと仕事に取り組む姿を描いた一冊です。

一般書

『なんだ、けっきょく
最後は言葉じゃないか。』

伊藤 公一／著

宣伝会議 2021年



電通のコピーライターとして活躍した著者が、仕事や面接で求められるコミュニケーション能力を高めるための、言葉の磨き方について書いた本です。

解説の柱になっているのは、広告コピーを書くときのプロセスや技術です。合わせて、情報を相手に正確に伝えるインフォメーションと、伝えた上で相手の心を動かすコミュニケーションの違いを理解しておくことや、相手の気持ちを想像して伝えたい言葉を精査していくことなど、「人の気持ちを動かす言葉の生み出し方」のポイントも示しています。

自分の言葉で人に何かを伝えたいと思ったときに役立つ一冊です。

ビジネス相談会

図書館で、起業や経営の相談ができるのをご存じですか？

中央図書館では毎月第2土曜日に「ビジネス相談会」を開催しています。広島県中小企業診断協会の中小企業診断士と広島県信用保証協会の職員による個別相談で、相談者は、専門家のアドバイスを受けることができます。

起業までの手順や事業資金の調達、販売促進・販路拡大、経費削減・生産性向上など、ビジネスに関する様々な内容をご相談いただけます。図書館の司書も同席し、相談内容に役立つ図書館の資料や情報をご紹介します。相談者からは、「相談したことで今後すべきことが明確になった」や「専門家の客観的で具体的なアドバイスが参考になった」などのご感想をいただいています。

起業をお考えの方や事業を見直したい方はもちろん、ビジネスに関する相談先が分からずお困りの方も、まず第一歩を図書館で踏み出してみませんか。



- 日 時：毎月第2土曜日
12時~17時
- 定 員：先着5名(無料)
- 時 間：1時間(1人)
*希望時間帯を事前予約
- 会 場：中央図書館3階
セミナー室



相談会に関するお問い合わせ、お申し込みは、
中央図書館まで

編集・発行

Hiroshima City Central Library
広島市立中央図書館
(公益財団法人 広島市文化財団)
〒730-0011 広島市中区基町3番1号
<https://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 0 8 2 (2 2 2) 5 5 4 2
本の照会・相談専用 0 8 2 (2 2 2) 6 4 4 0
F A X 0 8 2 (2 2 2) 5 5 4 5
(携帯電話) <https://www.library.city.hiroshima.jp/m/>
(スマートフォン) <https://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>